



「全力」で生きる！

今年2月、池江瑠花子さんが、**血液のがん**と言われる「白血病と闘っていること」を公表しました。池江選手と言えば、競泳女子のエースです。3歳から水泳を始め、5歳で5種目の50mを泳げるようになったと言われています。その後、2014年JOC大会では、50mおよび100m自由形で中学記録を更新し優勝。2017年日本選手権では、女子史上初となる5冠を達成し、昨年度(2018年)アジア大会では史上初となる6冠を達成し、大会最優秀選手に選出されました。



数々の記録を塗り替えるためにどれほど努力をしたのでしょうか。その彼女でさえ、今回の病気に際して、「思っていたより、数十倍、数百倍、数千倍しんどいです(つらい)です。」と正直に述べていました。経験のない私には彼女の本当のつらさは分かりません。

でも、彼女は、「私は、**全力で生きます**」と、病気のつらさに対して決してあきらめることなく、今も自分自身と闘っています。彼女の病気の回復を心より祈っています。

5月、池江さんは、自身のホームページに直筆で手紙を掲載されましたので紹介します。

応援してくださる皆様へ

池江 瑠花子

現在、治療は順調に進んでいます。

普段、体調が良い時は、今までやらなかったぬり絵やパズルをやったり、映画を観たり、泳いでいた時は出来なかったことを楽しむ、という生活を送っています。

今の季節は風が気持ちいいのかなあ、雨に当たりたいなあと思うことも、毎日外を見ては色んな想像をして退院後の1つの楽しみになっています。

長期の入院、治療にはなりますが、これからやりたい事、楽しみな事を考えながら前向きにとらえています。正直、心が折れそうな時もあります。ですが、たくさんの言葉にはげまされ、最後まで頑張りたい、負けたくないという気持ちがこみ上がってきます。

アスリートはもちろん、同じ病気の方達の気持ちは多少分かったつもりではあります。

どんな時でも1人ではない事を忘れません。そして忘れないでほしいです。

一緒に頑張りましょう！そして待ってくださっている皆様に1日でも早く良い報告ができるようにしたいと思います。引き続き温かく見守っていただけたら嬉しいです。

生きることの意味を伝えたい！

海洋楽研究所長の林先生が、今年も7月12日(金)13時半～14時半に本校のプールで講演をされます。**肺がん**という重い病気と闘いながら自分の命をイルカや魚のロボットに吹き込み、子供たちに、「命の大切さ」「生きることの意味」などを、教えてください。保護者・地域の皆さんで興味のある方は、ぜひ、学校(46-2108)にご連絡ください。



第54回 親と子の 作文コンクール

作品募集

◆締め切り

令和元年7月20日(土)

PTA の部

テーマ 「わが子の素敵なところ」

ふとした瞬間、子どもの成長に気づいたり、優しさにふれたり……。親として向き合う中で、「うちの子はすごい!」と感じたことをつづってください。

字 数 1,600字 (400字詰原稿用紙4枚) 以内

入 賞 最優秀…賞状・副賞3万円
優 秀…賞状・副賞1万円
入 選…賞状・図書カード(5千円分)
佳 作…賞状・図書カード(千円分)



応募先

〒461-0011
名古屋市東区白壁1-50
愛知県教育振興会
作文コンクール

7月20日締切
直接応募してね

児童・生徒 の部

テーマ 「うちの家族の、ここがすごい!」

一生懸命働く姿や、みんなに自慢したい特技、なにげない優しさなど……。あなたが感じる、家族の「すごいところ」を書いてください。

字 数 小学生…1,000字 (400字詰原稿用紙2枚半) 以内
中学生…1,600字 (400字詰原稿用紙4枚) 以内

入 賞 最優秀…賞状・図書カード(1万円分)
優 秀…賞状・図書カード(3千5百円分)
佳 作…賞状・図書カード(千円分)

【注意事項】

- ※原稿用紙に、PTAの方は氏名・所属学校名・お子さんの学年・自宅住所を、児童・生徒の方は氏名・学校名・学年をご記入ください。
- ※テーマとは別に、作品のタイトルをつけてください。
- ※応募時の個人情報は、本作品募集に関わる目的以外には使用しません。

★ 送り先 ▶ 〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50
公益財団法人 愛知県教育振興会
作文コンクール係

発 表 ▶ 『子とともに ゆう&ゆう』11月号誌上

問合先 ▶ 公益財団法人 愛知県教育振興会
作文コンクール係

☎ 052-961-8501

▶ 最優秀・優秀作品は、家庭教育情報誌『子とともに ゆう&ゆう』に掲載! (11・12月号)